10　補助ボイラー

| | |
|---|---|
| 6　蒸気タービンに附属する熱交換器（湿分分離器を含む。）に係る次の事項 | 蒸気タービンの管並びに蒸気タービンに附属する主配管の配置の概要を明示した図面及び系統図 |
| (1)　種類、容量又は発生蒸気量、入口及び出口の温度、最高使用圧力（一次側及び二次側の別に記載すること。）、最高使用温度（一次側及び二次側の別に記載すること。）、主要寸法、材料並びに個数 | |
| (2)　蒸気を発生する熱交換器の安全弁の種類、吹出圧力、吹出量、個数及び取付箇所 | |
| 7　蒸気タービンに附属する給水ポンプの種類、原動機の種類、出力及び貯水設備の種類、容量、個数並びに給水処理設備の種類、容量及び個数 | |
| 8　蒸気タービンに附属する管等に係る次の事項 | |
| (1)　主配管の最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料 | |
| (2)　蒸気だめ、ドレンタンクの最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法及び材料 | |
| (3)　安全弁及び逃がし弁の種類、吹出圧力、吹出量、個数及び取付箇所 | |
| 9　蒸気タービンの基本設計方針、適用基準及び適用規格 | |
| 1　種類、最大蒸発量、最高使用圧力、最高使用温度、伝熱面積、排出ガス量、ばい煙量、ばい煙濃度及び個数 | 水循環系統図 |
| 2　再熱器の通過蒸気量、最高使用圧力、最高使用温度及び伝熱面積 | 補助ボイラーの制御方法に関する説明書 |
| 3　節炭器の伝熱面積 | 補助ボイラー並びに補助ボイラーに附属する熱交換器の強度に関する説明書（構造図を含む。） |
| 4　胴、管寄せ及び管の主要寸法及び材料 | 補助ボイラーの安全弁の吹出量計算書（構造図を含む。） |
| 5　安全弁の種類、吹出圧力、吹出量、個数及び取付箇所 | 補助ボイラーに附属する主配管の配置の概要を明示した図面及び系統図 |
| 6　ボイラーに附属する給水設備に係る次の事項 | |
| (1)　給水ポンプの種類、個数並びに原動機の種類及び出力 | |
| (2)　貯水設備の種類、容量及び個数 | |
| 7　ボイラーに附属する熱交換器に係る次の事項 | |
| (1)　種類、発生蒸気量、入口及び出口の温度、最高使用圧力（一次側及び二次側の別に記載すること。）、最高使用温度（一次側及び二次側の別に記載すること。）、主要寸法、材料並びに個数 | |
| (2)　蒸気を発生する熱交換器の安全弁の種類、吹出圧力、吹出量、個数及び取付箇所 | |
| 8　ボイラーに係る次の事項 | |
| (1)　通風機の種類及び個数 | |
| (2)　煙突の種類、出口のガスの速度及び温度、口径、地表上の高さ、有効高さ並びに個数 | |
| 9　縮設備及びガス圧縮設備に係る次の事項 | |
| (1)　空気だめ及びガスだめの主要寸法、材料及び個数 | |
| (2)　空気だめ及びガスだめの安全弁の種類、吹出圧力、吹出量、個数及び取付箇所 | |
| (3)　空気圧縮機及びガス圧縮機及び個数 | |
| 10　係る次の事項 | |
| (1)　主配管の最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料 | |
| (2)　蒸気だめ、減圧装置及び最高使用温度、主要寸法及び材料 | |
| (3)　安全弁及び逃がし弁の種類、吹出圧力、吹出量、個数及び取付箇所 | |
| 11　項 | |
| (1)　原油用又は原油以外の石油（液化石油ガスを除く。）用の別 | |
| (2)　種類、輸送装置及び容量及び個数並びに原油及び原油以外の石油（液化石油ガスを除く。）の発熱量、硫黄分、窒素分及び灰分 | |
| (3)　熱交換器の種類及び個数 | |
| 12　その他の燃料の燃焼用機器に係る輸送装置及び燃焼器の種類、容量及び個数並びにその他燃料の発熱量、硫黄分、窒素分及び灰分 | |
| 13　ボイラーの基本設計方針、適用基準及び適用規格 | |